

# 平成25年度 第1回研修会の記録

報告 平成25年 5月26日

|           |                                                                   |       |                       |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------|
| 研修テーマ     | 「さいたまの巨樹(県・市天然記念物等)を」を見る                                          | 参加者   | 19名                   |
| 講師<br>案内係 | 荻原 東茂蔵 樹木医<br>内野 修 樹木医                                            | 研修場所  | さいたま市～和光市～新座市～所沢市～入間市 |
| 研修資料      | 行程概要冊子・訪問先パンフレット等                                                 | 研修記録者 | 内野 修                  |
| 目的        | 県内の県・市町村指定天然記念物を主に、現状の樹観・樹勢の観察及び樹勢維持回復作業の実態を考察し、今後の事例研究の課題提供としたい。 |       |                       |

## 行程・内容

5/13 9:00 JR大宮駅集合 : 貸切バス移動  
 9:45 桜区大久保 ケヤキ(県指定天然記念物)(日枝神社) バス移動中 地上部の衰退度判定集計を行う  
 10:30 和光市新倉 イチョウ(市指定天然記念物)(長照寺) バス移動中 地上部の衰退度判定集計を行う  
 11:30 新座市野火止 平林寺境内林(国指定天然記念物)コウヤマキ(推定樹齢約500年)  
 : 昼食 12:30 平林寺境内林内で昼食(弁当)  
 14:00 所沢市北野 北野天神社 13:30  
 14:45 所沢市堀之内 シダレザクラ(市指定樹木)(推定樹齢約140年)(樹勢回復作業継続樹木)  
 15:30 入間市下藤沢 熊野神社の大杉(市指定天然記念物)(推定樹齢約600年)  
 17:00 JR川越駅 解散

## 研修写真:(抜粋)



桜区大久保 ケヤキ(県指定天然記念物)

推定樹齢:1000年

樹高:≒20m

幹周:9.4m 根周り:14m

地上部の衰退度判定を各自行う

主幹が地上3mぐらいから無くなっており、幹内部は空洞。

さいたま市南西部荒川左岸の日枝神社の一角に存在する。昭和30年ごろまでは、農耕地に囲まれた環境にあったが、その後周辺が開発され、住宅地の中に取り込まれた。境内は未舗装だが、東側根近くは車路があり踏圧されている。樹木保存のため隣接の民有地を購入し公園化する。



和光市新倉 イチョウ(市指定天然記念物)

推定樹齢:700年

樹高:≒29m(強剪定前)

幹周:7.53m

地上部の衰退度判定を各自行う

和光市北部荒川右岸の丘陵中腹にある長照寺の一角に存在する。県内でも有数の大イチョウで、以前は大きく枝を張り、300kgを超える銀杏を実らせていた。

根元の約90%が空洞。台風での枝折れのために切り戻され、昨年の台風の後、強剪定される。